

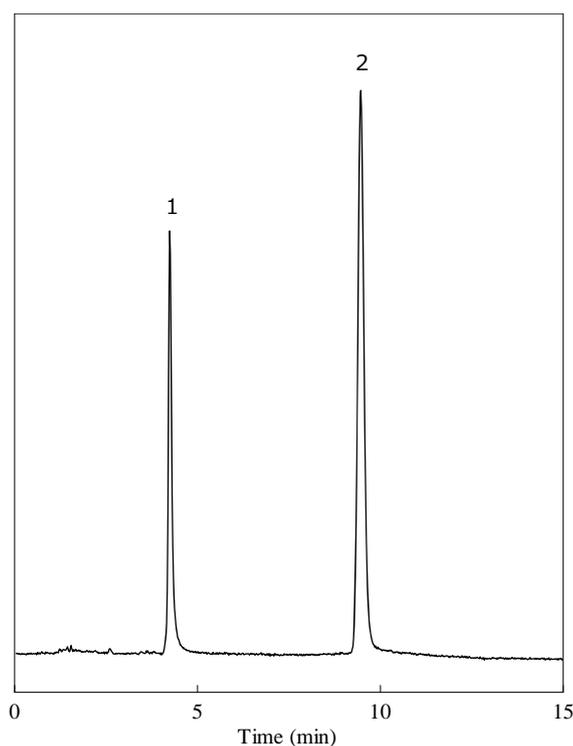
## プルプリン、キノザリン Purpurin, Quinizarin

キノザリンは無水フタル酸より合成される色素の中間体で、アメリカ国立標準技術研究所(NIST)では、液体クロマトグラフィーにおける配位性化合物のテストサンプルとして使用されており非常に吸着しやすい物質です。ここでは、キノザリンとプルプリンを酸性溶離液でHPLC分析しました。その結果、高純度シリカゲルと高温気相エンドキャッピングの相乗効果により、試料の吸着もなく、良好なピーク形状でした。

Key words : プルプリン キノザリン  
Column : USP category: L1

### [ Analytical conditions ]

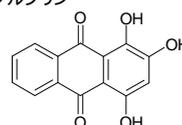
Column : L-column ODS (C18, 5  $\mu$ m, 12 nm), 4.6 mm I.D.  $\times$  150 mm L., Cat. No. 622070  
Eluent : CH<sub>3</sub>CN/20 mM H<sub>3</sub>PO<sub>4</sub> in H<sub>2</sub>O (60/40)  
Flow rate : 1 mL/min  
Temperature : 40°C  
Detection : UV 255 nm  
Injection volume : 5  $\mu$ L  
System : -



### Sample:

1. Purpurin (5 mg/L)

プルプリン



2. Quinizarin (10 mg/L)

キノザリン

